令和6年度札幌市高速電車事業貸借対照表

(令和7年3月31日)

(単位 円)

資	産	\mathcal{O}	部
'⇔`	//-	(/)	 1\
	<i>l′</i> + •.	V /	

1 固定資産

(1)	運送施設有形固定資産
/ I \	

イ	土	地		13, 656, 527, 091
口	建	物	50, 856, 091, 237	
	減 価 償 却	累計額	△ 41, 807, 595, 660	9, 048, 495, 577
ハ	線 路 設	備	589, 544, 173, 036	
	減価償却	累計額	△ 370, 495, 988, 600	219, 048, 184, 436
=	電 路 設	備	54, 412, 243, 760	
	減価償却	累計額	<u>△ 37, 430, 023, 116</u>	16, 982, 220, 644
ホ	その他構	築 物	619, 281, 704	
	減価償却	累計額	<u>△</u> 435, 361, 434	183, 920, 270
^	車	両	77, 360, 436, 605	
	減価償却	累計額	<u>△</u> 65, 600, 774, 613	11, 759, 661, 992
1	機械装	置	53, 056, 413, 127	
	減価償却	累計額	△ 36, 876, 217, 676	16, 180, 195, 451
チ	工具、器具及	び備品	1, 268, 564, 899	
	減 価 償 却	累計額	<u>△</u> 953, 866, 176	314, 698, 723
IJ	リース	資 産	83, 375, 245	
	減価償却	累計額	<u>△</u> 41, 496, 690	41, 878, 555
ヌ	建設仮	勘 定		4, 579, 437, 231
	運送施設有	形固定資産	合計	

291, 795, 219, 970

(2) 無形固定資産

1	地 上	権	2, 127, 371
口	施設利用	権	399, 379
ハ	ソフトウェ	7	240, 254, 531
=	その他無形固定資	 産	8, 165, 800

250, 947, 081

(3) 投資その他の資産

無形固定資産合計

	87, 600, 000			正券	価 訂	有	資	投	イ	
	55, 500, 000			金	:	資		出	口	
143, 100, 000			計	の資産合	の他の	資そ	投			
292, 189, 267, 051			計	産 合	資	定	固			
						産	資	動	流	2
	13, 343, 943, 762			金					預	(1)
	229, 294, 597			金					現	(2)
	3, 871, 511, 850			金		収			未	(3)
	1, 125, 693, 016			品		蔵			貯	(4)
	700, 000, 000			金	付	貸	月	其	短	(5)
	23, 364			用	費		払		前	(6)
	700, 475, 371			金		払			前	(7)
	60, 500			資 産	動資	流	他	0)	そ	(8)
19, 971, 002, 460			計	産 合	資	動	流			
312, 160, 269, 511			計	合	産		資			
	部	負 債 の		生		債	負	定	固	3
				債 †源に	等の財	業 引費等	2000	建言	· 企	(1)
		120, 355, 417, 395		業債	の企	ため	てる	充	イ	
		4, 894, 571, 422		債		例	- - ≠	特	口	
		12, 124, 999, 963		化 債 担		量 平 費	本 本		ハ	
		24, 461, 959, 133		養 債収	, 企 減	分	和另	資緩特	<u> </u>	
		17, 930, 000, 000		債	業	企	策	特 対	ホ	
	179, 766, 947, 913		計			業	企			
	29, 913, 840			務	債	ス	-	_	. リ 	
				金		当 	<i>.</i>		引、	(3)
	3, 246, 708, 712	3, 246, 708, 712			- 引			退	イ	
183, 043, 570, 465			計	債 合	負	定	固			
				,		債	負	動	流	4
				債 †源に	室の 財	業 3.費等	10000000000000000000000000000000000000	建計	· 企	(1)
		9, 627, 256, 749		業債	等の財の企	ため	てる	充	イ	
		1 055 140 050		/ ==		[7:5]		n.+		

口 特 例 債 1,055,142,859

ハ	資本費平準化債資本費負担	5, 612, 399, 155		
=	資 本 費 負 担 緩 和 分 企 業 債	4, 275, 676, 289		
	企 業 債 合 計		20, 570, 475, 052	
(2) y	ー ス 債 務		16, 157, 680	
(3) 未	払金		12, 062, 210, 439	
(4) 未	払 費 用		80, 609, 630	
(5) 前	受 収 益		380, 277, 430	
(6) 引	当金			
イ	賞 与 引 当 金	332, 061, 277	332, 061, 277	
(7) 預	り金		34, 533, 531	
(8) 保	証金		165, 306, 033	
	流動負債合計			33, 641, 631, 072
5 繰	延収益			
(1) 長	期 前 受 金			
イ	受贈財産評価額	20, 371, 768, 357		
	収益 化累計額	△ 11,000,691,526	9, 371, 076, 831	
口	寄 附 金	1,000,000		
	収益 化累計額	△ 48,600	951, 400	
<i>^</i>	国 庫 補 助 金	59, 332, 286, 605		
	収益 化累計額	△ 30, 461, 799, 460	28, 870, 487, 145	
Ξ	他会計補助金	137, 448, 749, 390		
	収益 化累計額	△ 78, 460, 171, 981	58, 988, 577, 409	
ホ	工事負担金	1, 707, 056, 447		
	収益 化累計額	△ 605, 144, 602	1, 101, 911, 845	
^	その他長期前受金	4, 418, 987, 819		
	収益 化累計額	△ 2, 930, 140, 041	1, 488, 847, 778	
	長期前受金合計			99, 821, 852, 408
	繰 延 収 益 合 計			99, 821, 852, 408
	負 債 合 計			316, 507, 053, 945
		資本の	沿	

6 資 本 金 176, 523, 105, 052

7 剰 余 金

(1) 資本剰余金

イ 受 贈 財 産 評 価 額 187,956,320

口 国 庫 補 助 金 54,430,806

ハ 他 会 計 補 助 金 327,113,910

二 地 上 権 収 入 604,402,000

ホ その他資本剰余金 69,324,162

資本剰余金合計

金合

1, 243, 227, 198

180, 869, 889, 486

(2) 利 益 剰 余 金

計

本 合 計 △ 4,346,784,434

負債資本合計 _____312, 160, 269, 511

注記

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

イ 有価証券

その他有価証券

時価のないもの 移動平均法による原価法

ロ たな卸資産

貯蔵品 先入先出法

(2) 固定資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産(リース資産を除く。)

(イ)減価償却の方法

車両については定率法、その他は定額法。ただし、取替資産(案内軌条ほか)については、帳簿原価の100分の50に達するまで定額法により行っている。

(ロ) 主な耐用年数

T . Q III11/11 3V		
固定資産	耐用年数(年)	
建物	15~60	
線路設備	5~60	
電路設備	5~40	
車両	13	
機械装置	4~20	
工具、器具及び備品	2~20	

ロ 無形固定資産(リース資産を除く。)

(イ) 減価償却の方法

定額法

(ロ) 主な耐用年数

固定資産	耐用年数(年)
地上権	5
ソフトウェア	5

ハ リース資産

(イ) 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

(3) 引当金の計上方法

イ 退職給付引当金

職員への退職手当の支給に備えるため、当事業年度末における退職手当の要支給額 に相当する額を計上している。

口 賞与引当金

職員への期末手当及び勤勉手当の支給並びに関係する法定福利費の支出に備えるため、当事業年度末におけるこれらの支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

(4) その他会計に関する書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式により行っている。 なお、控除対象外消費税等については、当事業年度の費用として会計処理を行っている。

2 キャッシュ・フロー計算書等に関する注記

重要な非資金取引の内容

当事業年度に新たに計上したファイナンス・リース取引に係る資産の額は3,096,000円、 負債の額は3,405,600円である。

3 貸借対照表等に関する注記

企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債(1年以内に償還予定のものを含む。)の償還に要する資金のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は、7,085,504,532円である。

4 セグメント情報に関する注記

高速電車事業の単一セグメントである。

5 減損損失に関する注記

なし。

6 リース契約により使用する固定資産に関する注記

(1) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、原則として通常の売買取引に係る方法に準じて会計処理を行うが、リース料総額が300万円以下の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

(2) 通常の売買取引に係る方法に準じて会計処理を行っているファイナンス・リース取引 以外のものに係る当事業年度の末日における未経過リース料相当額

支払時期	未経過リース料相当額
令和7年度	2,698,908円
令和8年度以降	5, 432, 852円
合計	8, 131, 760円

7 その他の注記

退職給付引当金の取崩し

令和6年度において、退職手当として559,479,872円を支給するため、退職給付引当金559,479,872円を取り崩して使用した。